

みずほCustomer Desk Report 2021/03/01 号(As of 2021/02/26)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	106.39	1.2159	129.35	1.4004	0.7866
SYD-NY High	106.69	1.2185	129.50	1.4021	0.7883
SYD-NY Low	105.85	1.2063	128.57	1.3890	0.7693
NY 5:00 PM	106.54	1.2070	128.63	1.3923	0.7708

NY DOW	30,932.37	▲ 469.64	日本2年債	-0.12	▲2.00bp
NASDAQ	13,192.35	72.91	日本10年債	0.16	2.00bp
S&P	3,811.15	▲ 18.19	米国2年債	0.13	▲4.90bp
日経平均	28,966.01	▲ 1,202.26	米国5年債	0.73	▲9.09bp
TOPIX	1,864.49	▲ 61.74	米国10年債	1.41	▲12.28bp
シカゴ日経先物	29,285.00	▲ 335.00	独10年債	-0.26	▲2.90bp
ロンドンFT	6,483.43	▲ 168.53	英10年債	0.82	3.65bp
DAX	13,786.29	▲ 93.04	豪10年債	1.76	2.70bp
ハンセン指数	28,980.21	▲ 1,093.96	USDJPY 1M Vol	6.96	0.26%
上海総合	3,509.08	▲ 75.97	USDJPY 3M Vol	6.93	0.13%
NY金	1,728.80	▲ 46.60	USDJPY 6M Vol	7.23	0.20%
WTI	61.50	▲ 2.03	USDJPY 1M 25RR	-0.20	Yen Call Over
CRB指数	190.43	▲4.15	EURJPY 3M Vol	7.69	0.50%
ドルインデックス	90.88	0.75	EURJPY 6M Vol	7.79	0.38%

東京	東京時間のドル円は106.39レベルでオープン。米10年債利回りが時間外に1.44%台まで低下する動きにドル円は105.85まで下落した。但しその水準では米金利も下げ止まったことで、ドル円も下落幅を縮小させ、結局106.17レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.17レベルでオープン。欧州株式市場はアジア時間の流れを引き継ぎ下落する中、立ち上がり106.01まで下げるも、世界的なドル買いを背景にドル円は買い優勢に。一時は106.52まで上昇する場面もあったが、米長期金利がもみ合う中で勢いは続かず、結局106.25レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は106円台前半を中心にレンジトレード。先日の米金利上昇が一服し、10年債利回りが1.44%台まで低下する動きを眺めながら105.85まで低下する場面もあったが、欧州通貨に対するドル買いが継続し、ドル円にも波及する中、再び106円台を回復。早朝に106.52をつけ、106.25レベルでNYオープン。朝方は米1月個人所得が発表され、前月比で大幅な増加が確認されるも、コロナ追加経済対策の現金給付金などによるものだと事前に予想されていたことから、市場の反応は限定的。その後、米長期金利が再び1.5%台乗せを試す動きにドル買いが進み、8月28日以来の水準となる106.69まで高値を更新。午後は買いが一巡するも、106.60近辺で小動き。週末前で積極的な取引が手控えられる中、結局、106.54レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.21台後半でスタートするが、米長期金利が約1年ぶりの水準となる1.5%付近で推移する中、ドル買い優勢な展開が続いた。早朝には一時1.21レベルを割り込み、1.2093をつけ、1.2118レベルでNYオープン。朝方はユーロ円の上昇にサポートされ、1.2141まで上昇するも、米金利の上昇を受けて伸び悩み、1.2063まで反落。米金利が低下に転じた後も、ユーロポンドの下落が重しとなり、戻りが鈍く、1.20台後半近辺で推移。週末を控え、次第に小動きとなり、結局、1.2070レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなすようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山岸・ローゼンタール TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月26日	22:30	米 個人所得	1月 10.0%	9.5%
	22:30	米 個人支出	1月 2.4%	2.5%
	22:30	米 PCEデフレ(前月比/前年比)	1月 0.3%/1.5%	0.3%/1.4%
2月27日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	2月 76.8	76.5

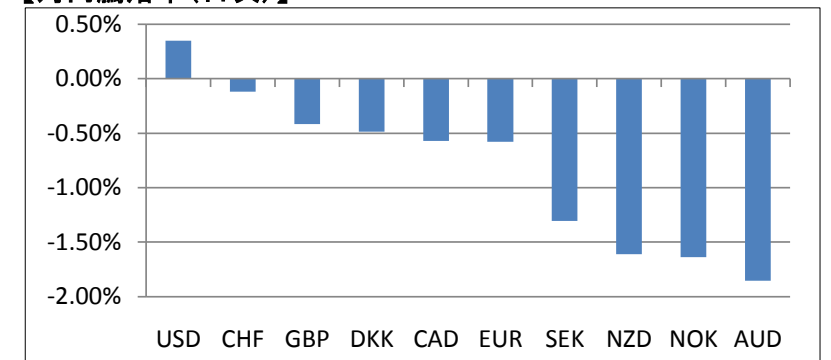
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月1日	18:00	欧 マークイット製造業PMI・確報	2月 57.7	57.7
	23:45	米 マークイット製造業PMI・確報	2月 58.5	58.5
3月2日	00:00	米 ISM製造業景況指数	2月 58.6	58.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	102.5-103.50	1.2270-1.2370	126.50-127.50

【マーケット・インプレッション】

前日のドル/円は米長期金利の上昇を背景に値を上げる展開。
東京時間106.39レベルでオープン。米長期金利が1.44%台まで低下する動きに、一時105.85まで下落する場面も見られたが、欧州通貨を中心とするドル買いにつられ、106円台を回復すると、米国時間には約6か月ぶりの高値となる106.69まで上昇。その後は米長期金利が高水準を維持したことにより高値圏で推移し、106.54でクローズ。
本日のドル/円は106円半ばを中心に底堅い値動きを予想する。米長期金利は依然として高水準を維持しており、極端なドル売りにつながることは考えづらい。本日発表が予定されている米製造業PMI確報やISM製造業景況指数の結果によっては、米全体の経済回復期待がさらに高まり、さらなるドル買いが進むことも想定したい。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア		6	15